

能・狂言と近江

中世、鎌倉後期から室町初期にかけて、近江では、近江猿楽が大いに人気を博し、日吉・多賀大社を中心に上三座・下三座を組織して祭礼に参勤していたことが知られています。特に近江猿楽の幽玄の芸風は、観阿弥・世阿弥による能楽(能・狂言)の大成にも大きな影響を与えたと言われています。

2025年12月5日(金)10時30分~12時

講 師 いかいゆり子さん(近江の文学研究家)

内 容 ・能、猿楽(近江猿楽 大和猿楽)とは

- ・近江が舞台の主な能・狂言についての紹介
 - ・能を鑑賞するときの留意点など

会 場 草津コミュニティ支援センター

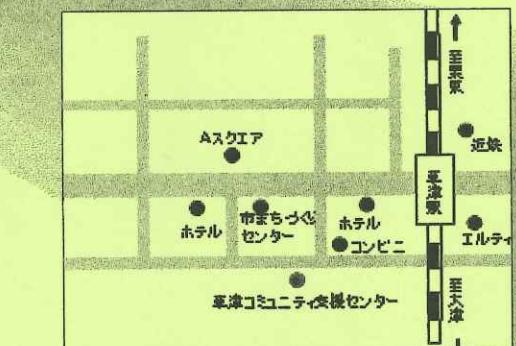
参加費 500円

定 員 30名(定員になり次第締切)



滋賀県生まれ。湖南市在住。
近江の文学研究家として『近江のかくれ里』、『近江の小倉百人一首』、
『改訂版近江の芭蕉』等（ともにサンライズ出版）を上梓。現在も幅広く古典文学の講師等を務めるかたわら、湖国滋賀県の魅力を広く紹介する活動などに取り組む。

※駐車場はありません



問合せ・申込

草津コミュニティ支援センター運営会 草津市西大路町10-12

TEL/FAX: 077-563-0932 平日10:00~15:00

mail : npo@932csc.com

